

令和元年度 第 2 回安全・安心なまち部会

今後の取り組み検討にあたり、ご意見をうかがいたい内容

【1-1 防災対策（自助の取組）】

令和元年度に実施した 18 歳～29 歳対象の区民アンケートの結果では、防災における共助の取組について、「地域住民とのつながりを作っていきたい」という回答者が 7 割を超えたほか、「災害時にボランティアや避難所開設等の活動をしたい」という回答者が約半数と、若年層の防災意識の高さが確認できました。

一方、「飲料水や食料の備蓄」に取り組んでいるものの約半数の方は「1～2 日程度」のみ、また、共助の取組の自由記述において「女性の一人暮らしだと地域住民とのつながりを作るのが怖い」という回答があり、若年層ならではの課題があることが判明しました。

令和 2 年度は、そのような若年層の防災の課題に対してアプローチし、地域の防災力を効果的に向上させていくための新たな取り組みを行いたいと考えています。

具体的には区内の中学校・高校・専門学校等から代表者を集め、若年層自らが防災について意見交換する「防災ラウンドテーブル」のような仕組みづくりが有効ではないかと考えていますが、これについて委員の皆様から様々なご意見を頂きたいと考えています。

また、上記以外に若年層の防災意識向上に効果的と思われるものがあれば教えていただきたいと思います。

【1-1-4 地域安全対策】

令和 2 年度は、地域の子どもの犯罪や交通事故に巻き込まれないよう、子ども見守り活動の支援や青色防犯パトロール活動、新 1 年生への安全マップ配布など、子どもの安全を守る取り組みに重点を置いた取り組みを進めたいと考えています。

そのための主な取組として以下の 2 つを考えていますが、これらの内容について、委員の皆様から様々なご意見を頂きたいと考えています。また、これら以外にも子どもの安全確保に効果的と思われるものがあれば教えていただきたいと思います。

（取組案 1） 平成 30 年度から、警察署や消防署等と連携し「子どもの安心・安全フェスティバル」を開催しています。平成 30 年度は「子どもの防災」、令和元年度は「交通事故時の応急処置」をテーマに実施しました。令和 2 年度には、4 月 11 日（土）午後淀川警察署交通課と共催で「交通事故にあわないために」をテーマに実施予定です。このようなイベントがより実効性の高いものとなるためのご意見をいただきたいと思います。

（取組案 2） 「こども 110 番の家」事業について、現在は町会長や民生委員などの個人を中心に約 1,400 軒の方々にご協力いただいています。今後はさらに、事業所や商店の方々にもご協力の輪を広げることが区内全体の犯罪抑止力向上に効果的と考えていますが、どのような取組が効果的でしょうか。

【1-2-1 地域における見守り支援体制の構築】

少子高齢化社会が深刻化していく中で、社会から孤立した状態で亡くなり、長期間気づかれない「孤立死」が社会問題となっています。孤立死は独居高齢者や老老介護世帯だけでなく、若年層の家族がいる世帯や生活困窮世帯でも起こっており、淀川区においても地域から孤立した状態で亡くなる事例がありました。

地域での孤立死を防ぐための有効な取組について、委員の皆様から様々なご意見を頂きたいと考えています。また、ご自身の身の回りで実際に懸念されている事や参考になる様な体験談等がございましたらぜひとも教えていただきたいと思います。